

ATAサテライト 静岡



パラフットボールから始まる地域の輪
支援機器と想いをつなぐ、静岡交流会

常葉大学 保健医療学部 作業療法学科 村岡健史（作業療法士）

パラフットボールとは

サッカーはひとつじゃない。様々な障がいに合わせて、7つのパラフットボールがあります。



IDサッカー

知的障がいのある選手のためのサッカー



アンプティサッカー

主に上肢または下肢の切断障がいのある選手のためのサッカー



ブラインドフットボール

視覚障がいのある選手のためのサッカー



デフサッカー

聴覚障がいのある選手のためのサッカー



ソーシャルフットボール

精神障がいのある選手のためのサッカー



CPサッカー

脳性麻痺のある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー

重度の障がいがあり電動車椅子を使用する選手のためのサッカー

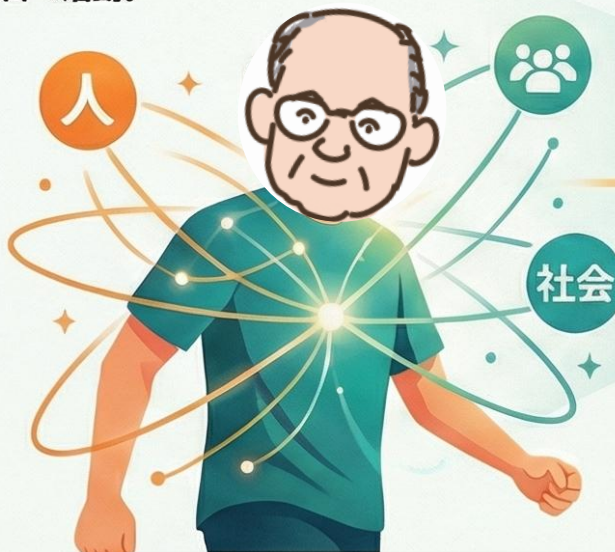
障がい×サッカー

静岡のパラスポーツを動かす連携の力

STEP 1: 中核となる人物

静岡パラフットボールの キーマン、瀬戸脇氏

パラスポーツと人、そして社会をつなげるために
日々活動。



IAI パラスポーツパーク
NPO 法人静岡 FID サッカー
連盟 理事長

STEP 2: 企業の共感

産業用ロボットのIAIが 活動に共鳴

瀬戸脇氏のパラスポーツ推進の理念に
深く共感した。



株式会社アイエイアイ (IAI)
産業用ロボットのリーディングカンパニー

民間企業による 拠点創設という決断

一般企業がパラスポーツの拠点を作る



STEP 3: 生まれた成果



「IAIパラスポーツパーク」の誕生

IAIが自社の敷地内にパラスポーツ専用フィールドを建設

「静岡すごいぞ」と
言えるほどのインパクト



すべては、現場の
「困りごと」を
知ることから
始まった。

ATAサテライト交流会：2025年10月4日

その日、パラアスリートの皆さんは参加できない



村岡

- ・ 交流会に向けて、アスリートの声を集めたい
- ・ パラスポーツの実際を観てみたい



私も一緒に同行します！



テクノエイド協会
香川氏

2025年9月7日（日）
IAIパラスポーツパークにて
アスリート/関係者へインタビューし意見や問題点を把握



パラスポーツの現状：インタビューから見た3つの課題

ブラインドサッカー、CPサッカー、アンプティサッカー、電動車いすサッカーの選手と家族へのインタビューから、パラスポーツ界が抱える多様な「困り事」とその根本的な問題が明らかになりました。



課題1：競技による課題の多様性



困り事は競技ごとに全く異なる

全てのパラスポーツで同じ課題を抱えているわけではない。



課題2：立場による課題の違い



選手と家族・関係者では
困り事が異なる

それぞれの立場から見える
問題点には隔りがある。



課題3：最も深刻な課題 - 語る機会の欠如

課題について
話す機会がなかった

インタビュー対象者
「こんな困りごとを聞かれたことはなかった」

これがパラスポーツの現状



ATAサテライト静岡

パラフットボールから始まる地域の輪 ～支援機器と想いをつなぐ、しずおか交流会～

本日の予定

座長挨拶：村岡健史

本事業の説明：テクノエイド協会

2025年10月4日（土）10:30-17:00

1 静岡県におけるパラスポーツ振興の取り組みについて

牧野博文氏（静岡県 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班）

2 パラフットボールと支援機器のつながり

「車いすファンサッカー・ファンガード」の紹介・パラフットボール道具の紹介体験／展示・IAIサッカーロボ体験

3 IAIパラスポーツパークの設立と取り組み

瀬戸脇 正勝氏（静岡FIDサッカー連盟）

4 パラスポーツ当事者の声～インタビューから見てきたこと～

座長：村岡健史

【意見交換会】

テーマ①：当事者の声からそれぞれの立場で思うこと／考えること

テーマ②：競技者・家族が希望する製品とは

テーマ③：想いを形にするための方法と普及のための方策



期待する3つの「場」

- ①製品普及啓発の場
- ②製品開発のための
意見収集の場
- ③競技者の技術向上の場



10/4 交流会 参加者

M氏



Nさん



厚生労働省

静岡県庁

牧野氏



Nさん



県内企業

マクルウ

A氏



橋本

エンジニアリング

O氏



宇田川氏



五島氏



香川氏



テクノエイド協会

村岡氏



瀬戸脇氏



YAMAHA

N氏



矢崎化工

W氏



イラストレーター



ファンサッカー普及

車椅子
ファンサッカー協会



横浜リハ

I氏



中村さん



静岡県におけるパラスポーツ振興の取り組みについて

静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班
牧野 博文氏

パラスポーツの裾野拡大の取組

①障害のある方のスポーツの参加促進

みんなでスポーツ教室を県内各地で開催
R6年度 5回開催 533名参加

出前教室
パラスポーツ指導員を福祉施設に派遣し、出前教室を開催
R6年度 派遣先 23施設 533名参加

県内のパラスポーツ団体に初心者向けスポーツ教室の開催を委託
R6年度 13競技 延べ138回開催

講演会
「静岡県パラスポーツ応援隊」派遣事業
静岡県ゆかりのパラアスリートを派遣
R6年度 派遣回数 16回派遣

静岡県障害者スポーツ大会「わかふじスポーツ大会」の開催

全15競技実施
R6年度参加数 選手 2,174名
競技役員・ボランティア 1,000名

②パラスポーツを支える人材の育成

「初級パラスポーツ指導員養成講習会」の開催

日本パラスポーツ協会公認資格
「初級パラスポーツ指導員」のための講習会

R6年度受講者 24名
静岡県内の初級資格保持者 901名

指導員スキルアップ講習会の開催

パラスポーツ指導員、競技団体指導者に向けた、スキルアップの為の講習会

R6年度受実績 7回開催
受講者 218名

③パラスポーツの認知度向上、様々な団体との連携

「ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム」の運営官・民が連携し、パラスポーツ推進する為の組織として R5 年に設立
会員数 (R7,9,26 時点)
団体：143 団体 (県内各市町村、一般企業、医療教育機関)
個人：211 名



コンソーシアム：会員認証事業支援、マッチング事例

静岡ブルーレヴズホームゲームパラスポーツ体験・トークショー

主催 静岡ブルーレヴズ
会場・ブース提供 用具貸し出し ボランティア手配

清水駅前商店街パラスポーツフェスティバル

主催 清水クロス 三井住友海上火災保険
協力 静岡県 コンソーシアム

コンソーシアム：広報活動

大学生によるパラスポーツ体験レポート
アスリートインタビュー
記事を SNS に投稿

①パラアスリートの発掘・育成

パラアスリートの発掘・競技体験会の開催

基本的運動能力の測定会と16競技団体による競技体験会を開催

パラスポーツ団体による「強化練習会」開催
R6 12 競技、開催 102 回延べ参加者 1310 名
「全国障害者スポーツ大会」への選手団派遣
R6 実績 派遣選手 48 名

①パラアスリートの支援

静岡県ゆかりのパラアスリートの強化活動費等補助

R6 実績対象選手 24 名
支援選手のうち 9 名がパリパラリンピックに出場メダル獲得 3 名

東京デフリンピック 自転車競技開催

耳の聞こえない方のアスリート大会
2025 年 11 月 15 日～26 日

想定参加人数 70~80 カ国・地域から選手団等約 6,000 人 (選手 3,000 人)

「やるじゃん静岡」
「見直したぞ静岡」

静岡県におけるパラスポーツ振興の 取り組みについて

パラスポーツの裾野拡大の取組

静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班
牧野 博文氏

①障害のある方のスポーツの機会拡大



静岡県障害者スポーツ大会



②パラスポーツを支える人材育成

「初級パラスポーツ指導員養成講習会」の開催
日本パラスポーツ協会公認資格
「初級パラスポーツ指導員」のための講習会



指導員スキルアップ講習会の開催
パラスポーツ指導員、競技団体指導者
に向けた、スキルアップの為の講習会



③パラスポーツの認知度向上、様々な団体との連携

「ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム」
の運営官・民が連携し、パラスポーツ推進する
為の組織として R5 年に設立
会員数 (R7,9,26 時点)
団体：143 団体 (県内各市町村、一般企業、医療教育機関)
個人：211 名



コンソーシアム：会員認証事業支援、マッチング事例

コンソーシアム：広報活動



【コンソーシアム】は
静岡の未来を繋いでいく
大きな可能性を感じた

による
「強化練習会」開催
2 回延べ参加者 1310 名
大会」への選手団派遣
名



助費等補助

バックに
得 3 名



アスリート大会
3 月～26 日
000 人 (選手 3,000 人)



10/4 交流会 参加者

M氏



Nさん



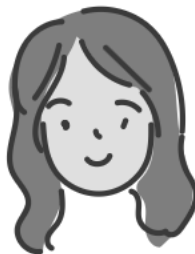
厚生労働省

静岡県庁

牧野氏



Nさん



県内企業

マクルウ

A氏



橋本

エンジニアリング

O氏



宇田川氏



五島氏



香川氏



テクノエイド協会

村岡氏



瀬戸脇氏



YAMAHA

N氏



矢崎化工

W氏

Mさん



イラストレーター



ファンサッカー普及

車椅子
ファンサッカー協会



横浜リハ

I氏



中村さん



「パラフットボールと支援機器の繋がり」

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団
横浜市総合リハビリテーションセンター 地域リハビリテーション部
リハビリ工学者 中村詩子さん



サッカーがしたい！



きっかけは「サッカーがしたい」
ある車いす小学生の一言から
DIYで開発へ



競技用車いすは150万円～200万円とかなり高額

令和6・7年厚生労働省「障害者自立支援機器等開発促進事業」

開発代表者（申請者）
矢崎化工株式会社 機器の開発販売

開発協議会 開催頻度：年2～四回

- ヤマハ発動機株式会社
- 横浜ラボール（障害者スポーツ文化センター）
- 横浜市立上菅田特別支援学校

開発分担者
横浜市総合リハビリテーションセンター
開発ディレクション
臨床現場や関係機関との連携

臨床現場

- ・ ユーザーのヒヤリング
- ・ 臨床現場での試行
- ・ 評価場所の協力など
- 横浜ラボール
- 横浜市立上菅田特別支援学校

発案開発者

横浜リハ

I氏

中村さん



企業

YAMAHA

N氏



矢崎化工

W氏

Mさん



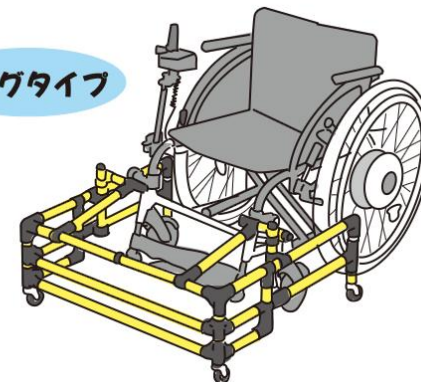
ユーザー

車椅子
ファンサッカー協会

K氏



レッグタイプ



ベースタイプ



ニーズ・シーズマッチングの代表事例

「パラフットボールと支援機器の繋がり」

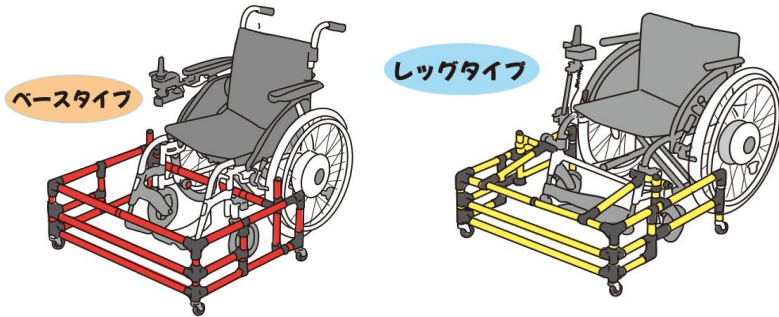
ヤマハ発動機公式チャンネル「Field Borm Vol.9 あなたがここにいるから」
横浜リハビリセンター 中村さんファンガードの制作動画



再生回数が多かった、反響があった！ 再生数 31 万回

ヤマハの電動車椅子だけでなく、活動されている方(SDGs)の動画とした。プロのカメラマンと編集技術でメディアをうまく使った！

ヤマハさんの動画
反響は大きい



実際声がかかったとき困りませんでしたか？

正直、車いすが壊れるのでやめてほしいという気持ちだった。

1つだけ条件を出させてもらった。



YAMAHA

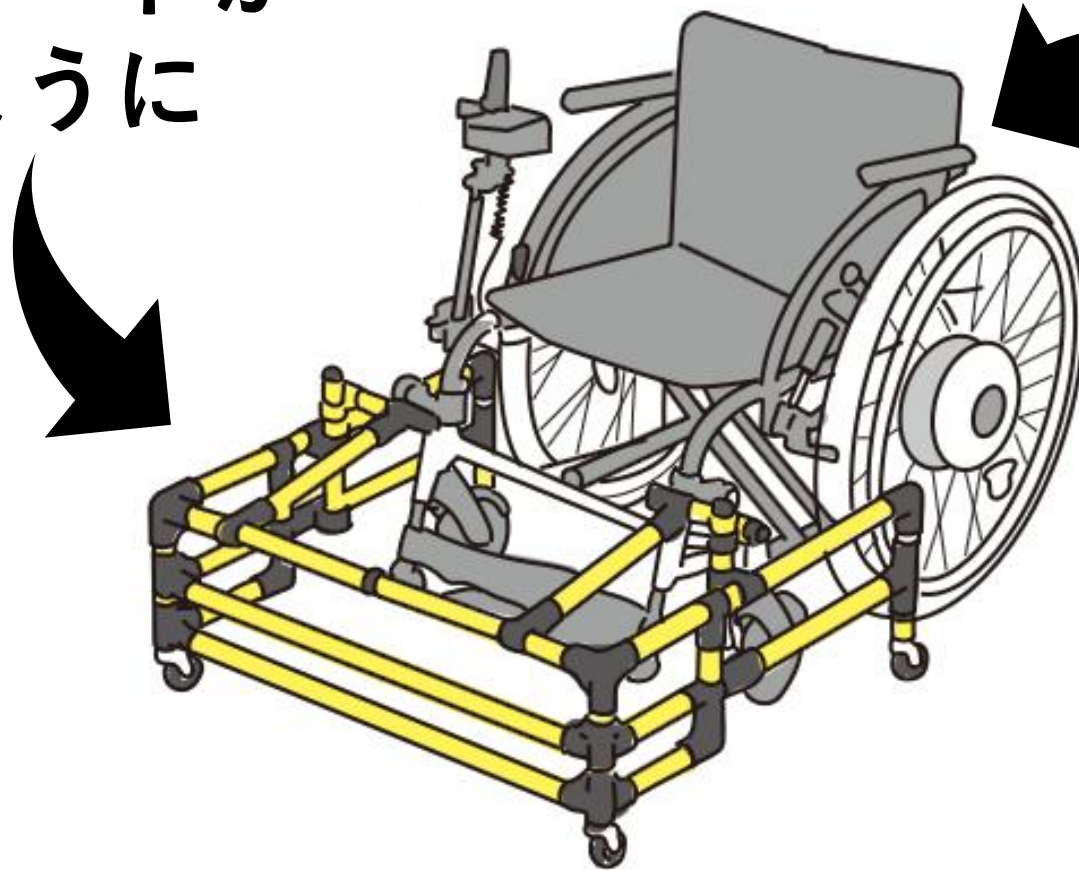
N 氏



「パラフットボールと支援機器の繋がり」

【開発協力の絶対条件とは】

ファンガードが
壊れるように



絶対に車いすを
壊さないで

YAMAHA

N氏



既製品を応用した商品開発における
非常に大事な視点

IAI パラスポーツパークの設立と取り組み

IAI パラスポーツパーク NPO 法人静岡 FID サッカー連盟 理事長
瀬戸脇 正勝氏

静岡 FID サッカー連盟の取り組み
特別支援学校等の卒業生に豊かな人生をおくって欲しい
長い人生のなかで働くことだけ教えるのではなく
土日の楽しみがないと心折れてしまう

静岡はサッカーが盛ん

休日の楽しみ

うるおい



行政だけに任せるのではなく
民間企業にとっても社会貢献や社会的評価に
つながるメリットを提唱

パラスポーツー人ー社会をつなぐ

ID（知的障害）からはじめたサッカー部から多様な障がい者の広がり

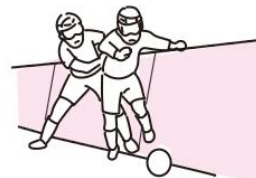


IAI パラスポーツパーク パラスポーツ専用の会場

大会、イベントをとおして、地域の人々の交流を
促進し、連帯感や活力を醸成することを目指している
2024 年 12 月にオープン



人工芝のフットサルコート
車椅子競技を行うことのできる
屋内コート、クラブハウスがあります



ラインサッカーフェンス
(白い衝立) 10 分で
設置可能



もしかしたら静岡県民は気づいてしまったかもしれない。
パラフットボール競技が面白いということに。→なぜ気づけたか。

IAI パラスポーツパークの設立と取り組み

IAI パラスポーツパーク パラスポーツ専用の会場



もしかしたら静岡県民は気づいてしまったかもしれない。
パラフットボール競技が面白いということに。なぜ気づけたか。

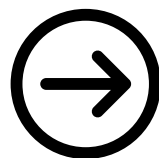


瀬戸脇さんの戦略

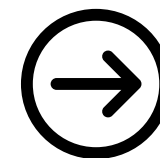


大会を
イベント化する工夫

大会とセットで
競技体験ブース
を用意



健常者も
そのスポーツの難しさや
すごさが理解できる



ただ観戦しただけでは
生まれない感情を醸成

パラスポーツ当事者の声～ インタビューから見えてきたこと～

常葉大学 保健医療学部 作業療法学科講師 村岡健史氏



しずおかパラフットボール

「困りごと」「想い」の共有



用具の使用
特別な道具のルール



練習環境
場所や方法の課題



ルール・制度
競技の決まりごと



ブラインドフットボール
視覚障がいのある選手
のためのサッカー



CPサッカー
脳性麻痺のある選手
のためのサッカー



足に障がい



アンブティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がい
のある選手のためのサッカー



アンブティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がい
のある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー
重度の障がいがあり電動車椅子
を使用する選手のためのサッカー



選

現

音と声が頼り！ブラインドサッカー

ブラインドサッカーは、アイマスクをつけた選手がボールの鈴の音や声だけに頼りにプレーするスポーツ



課題1：頭と目を守る道具

ブラインドサッカー競技者の声

激しいプレーでヘッドギアやアイマスクがずれたり外れると試合が中断、審判が毎回付け直す必要がある



高い
安全性！

一体型装備
の必要性

アイマスク、ヘッドギア
一体型

課題3：シュート練習

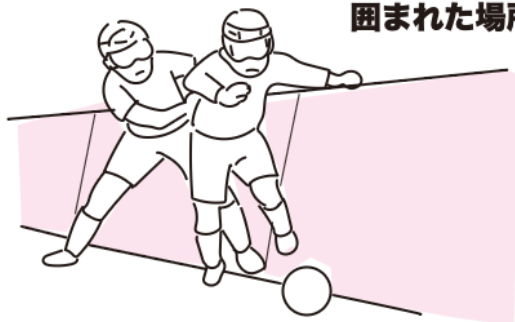
ゴールのところに音を出す機械があれば
1人でも練習できるのになあ



スマホを活用すれば
すぐに解決

理想の練習場所

専用フェンスで
囲まれた場所



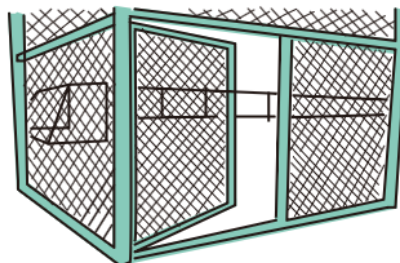
課題2：安心して練習できる場所

安全確保が重要

専用フェンス会場
が欲しい

現状の課題

フットサルコート
(衝突による怪我のリスク)



自分の見えないところに
大切なスマホを置いておけますか？

CP サッカー 脳性まひのある選手たちが挑む7人制サッカー



夢の舞台はどこへ？選手たちの挑戦

元代表選手の声



CP サッカーの「見えない壁」


技術の高度化

技術向上で健常者サッカーとの差が縮まり
障がい者スポーツとしての位置付けが困難に

国際ルールへの課題

一部の海外チームで障がいの重い選手を
試合に出さないケース、問題が複雑化

目標の喪失


ロンドンパラリンピック以降、
公式種目から除外

**CP サッカー選手たちは
困難に直面している**


仲間を見つけ、未来につなぐ道のり

課題：選手を見つけ、増やすための3つの壁


選手層の薄さ

 脳性まひのある選手が少ない
明確なキャリアパスが不足
している

情報伝達の難しさ

 個人情報保護のため候補者
リストが得られない。広報活動
の努力が必要

人間関係の課題

 障がいの特性上、人間関係構築
が苦手でチームを離れてしまう

工夫：自分たちで未来を切り拓く選手たちの活動

広報活動の継続

自作のパンフレット配布



行政との連携

県がサッカー広報活動を開始



ブラインドフットボール
視覚障がいのある選手のためのサッカー



CPサッカー
脳性麻痺のある選手のためのサッカー



アンプティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がいのある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー
重度の障がいがあり電動車椅子を使用する選手のためのサッカー

**福祉機器では
解決できない問題も**

アンプティサッカー 大切な「相棒」クラッチの課題と工夫

足に障がいのある選手がクラッチ（杖）を使ってプレーするスポーツ

選手にとって、クラッチや防具は体の一部

既製品を超える DIY 製品

選手自身による改良

選手自ら「エンジニア」のように改良している

知恵と探究心



「クラッチ」の困り事

こわれやすい



激しいプレーで曲がったり折れたりする

すべりやすい



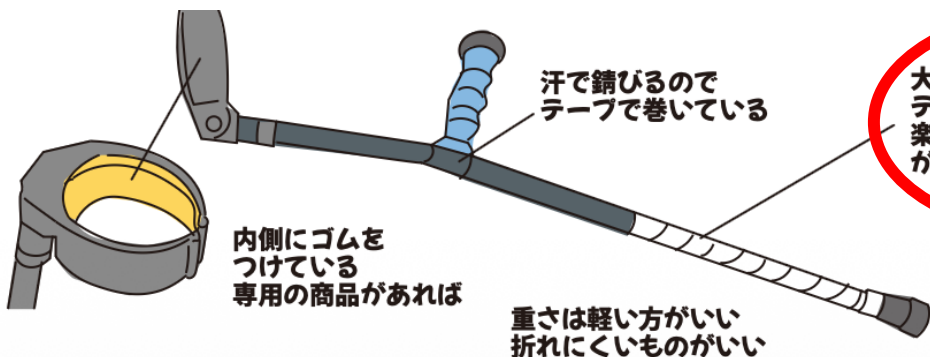
歩行用ゴムのため、体育館では滑り、芝生では刺さりにくい

ルール対応



国際試合では金属部分を隠す必要がありテープで対応に手間がかかる

アンプティサッカー選手の要望



大会によって色を変えるテープを剥がすとべたつく楽に張り替えられるテープが欲しい

既製品で解決できる商品はありませんか？

全く異なる課題

- ・フィールドプレーヤー（下肢切断者）
- ・ゴールキーパー（上肢切断者）



ブラインドフットボール
視覚障がいのある選手のためのサッカー



CPサッカー
脳性麻痺のある選手のためのサッカー



アンプティサッカー
主に上肢または下肢の切断障がいのある選手のためのサッカー



電動車椅子サッカー
重度の障がいがあり電動車椅子を使用する選手のためのサッカー

アンプティサッカー キーパー 防具の課題と工夫

キーパー（上肢切断者）の危険性

腕を切断しているため、転倒時に手をつくことができず、肋骨などを負傷するリスクが高い



防具の重要性

選手が安全にプレーをするために適切な防具が不可欠

選手を守る防具の現状と解決策

市販品での工夫

アイシング用ラップなどで腕を固定



オーダーメイド

義肢装具士に依頼
高い安全性
費用が約 10 万円
保険適用外

電動車椅子サッカー 選手と車椅子の深い絆

選手と専用の車椅子が一体となりボールを追いかける電動車椅子サッカー

課題1：電動車椅子の準備

理想

特注車椅子

現実

IAIが電動車椅子を準備
(貸出し)してくれたこ
とで始められた!



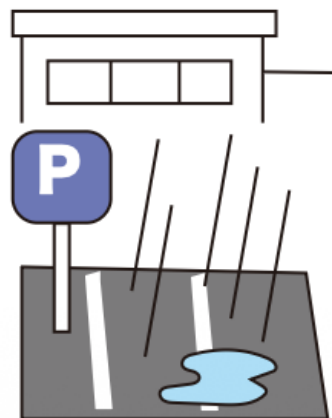
100円ショップの粘土でジョイスティックを工夫

課題2：車椅子が壊れても…

試合の衝突でタイヤや部品が破損する
修理や運搬の費用が高く、おおきな負担
修理には専門技術が必要頼れる人が少ない



課題3：雨の日の移動「見えないバリア」って何?



「見えないバリア」の一つ。少しの工夫で選手たちが安心して競技に集中できる環境を作ることができます。



なんとかして解決したい課題
車いす競技の宿命

練習後、試合後、家族にとって
一番大切な時間に家族が課されていること
【体育館床のタイヤ痕を消して回る】



汗だくになって疲労度：高

+

雨が降っていたら疲労度：更に上昇

+

事故に注意しながらの運転で疲労度：MAX

タイヤ痕だけ簡単に剥がせる
テープや洗浄液はありませんか?

この中学生の物語は
ここで終わりません。



よし、
次のチャレンジだ！
その舞台はある！

彼は別のパラフットボールから
電動車いすサッカーに挑戦してきた若者です

「自分は立てなくなったからサッカーをあきらめる」
ではない世界がココにあります

交流会の後悔

そもそも設定した20分で
選手の葛藤や想いを
伝えきれなかった



ATAサテライト静岡

パラフットボールから始まる地域の輪 ～支援機器と想いをつなぐ、しずおか交流会～

本日の予定

座長挨拶：村岡健史

本事業の説明：テクノエイド協会

2025年10月4日（土）10:30-17:00

1 静岡県におけるパラスポーツ振興の取り組みについて

牧野博文 氏（静岡県 スポーツ・文化観光部 スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班）

2 パラフットボールと支援機器のつながり

「車いすファンサッカー・ファンガード」の紹介・パラフットボール道具の紹介体験／展示・IAIサッカーロボ体験

3 IAIパラスポーツパークの設立と取り組み

瀬戸脇 正勝 氏（静岡FIDサッカー連盟）

4 パラスポーツ当事者の声～インタビューから見てきたこと～

座長：村岡健史

【意見交換会】

- テーマ①：当事者の声からそれぞれの立場で思うこと／考えること
テーマ②：競技者・家族が希望する製品とは
テーマ③：想いを形にするための方法と普及のための方策



期待する3つの「場」

- ①製品普及啓発の場
- ②製品開発のための意見収集の場
- ③競技者の技術向上の場



瀬戸脇氏

選手の困り事ヒヤリングをして、彼らが思っても意見を出す場がなかったので、思ってもみないことが出てくる、課題として拾い上げる改善策として毎年でも行うことが良いと思いました。



Nさん

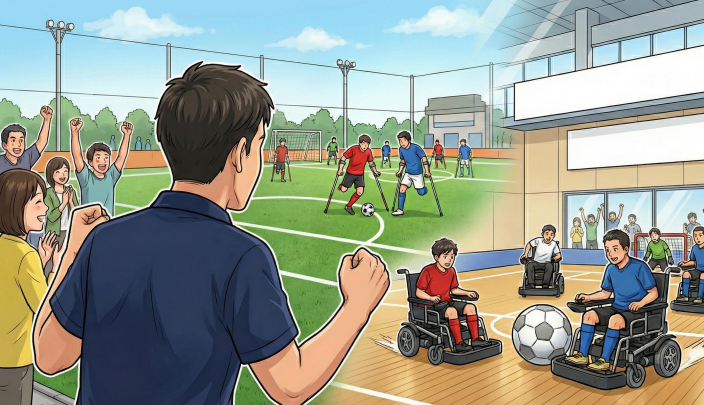
貴重なご意見を聞くことができ、ありがとうございます。
当事者のもっているニーズを聞く機会があまりないので担当者を
通じてどれだけいかせていくか県としても頑張りたいと思います。

ネットワークなし
知識技術なし
【結論】

“あいのり”してしまえ

パラスポーツに
触れて興奮し
選手の声に
心動かされ
だけど、まだ
何もやれていない
男性の背中

= 静岡モデル



静岡県におけるパラスポーツ振興の 取り組みについて



静岡県スポーツ・文化観光部スポーツ振興課 生涯・パラスポーツ班
牧野 博文氏

パラスポーツの裾野拡大の取組

①障害のある方のスポーツの



みんなでス
教室を県内
開催

R6年度 5
533

③パラスポーツの認知度向上、様々な団体との連携

「ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム」

る「強化練習会」開催
同延べ参加者1310名



は
いく
た

調べてみると

勤務先である

所属団体であ
静岡県作業

未加入

厚生労働省



Nさん

交流会では、地域のネットワーク構築に繋がりそうなお話をたくさん聞くことができました。ありがとうございます。ぜひこの輪の中に、県内のPTやOT、ST等のセラピストの方々にも参加いただくと、より広がった機器の支援が可能になるのではないかと考えています。引き続きどうぞよろしくお願い致します。



静岡県作業療法士会

Shizuoka Association of Occupational Therapists

先日の理事会にて来年度から団体登録することが承認された

【急いだ理由：瀬戸脇さんのこの言葉】



教育現場を卒業した障がい者は
同時に医療からも遠ざかる

自分の専門分野は 福祉用具 (特に介護用リフト)

このテーマだったら交流会を
うまく運べる自信がある

テクノエイド協会から紹介された
2024年ATAサテライト那覇
の報告動画

「私がやりたいことを、
すでにやってくれている」

飛び込んでみた パラフットボールの世界



「これは
自分のライフワークに
なるかもしれない」

